

## 第1号議案

### 令和6年度事業報告並びに収支決算承認について

#### 令和6年度 事業報告

##### はじめに

令和6年の一番茶萌芽日は、1月から2月の気温がやや高かったため、平年に比べ2日早い4月2日（前年は顕著に早かったことから前年比5日遅い）となりました。4月に入り気温は高く、降水量も多く経過したことから、生育は急速に進みましたが、初取引は昭和49年の茶市場開設以来最も早かった昨年に比べて8日遅い4月24日となりました。

相場展開は、内質重視で価格差は大きくなりましたが、全てのランクにおいて強含みでの取引となり、特にてん茶の取引においては、大変引き合いの強さを感じる取引となりました。令和6年は昨年に続き市況は好調で、総販売金額は50億を超え、昭和49年の茶市場開設以降初めての実績となりました。

茶品評会では、「第76回関西茶業振興大会愛知県大会」は、普通煎茶、玉露部門において農林水産大臣賞と産地賞を受賞しました。また、「第78回全国お茶まつり静岡大会」は、かぶせ茶、てん茶部門において農林水産大臣賞と産地賞を受賞されるなど引き続き、高品質茶生産技術と宇治茶産地の名声を堅持されたところです。併せて、京都の流通業者の皆様には、常に京都府産茶の購入・販売を第一に取組み、宇治茶ブランドの維持・発展に貢献いただいているところです。

また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されてから1年が経過し、茶の市況も益々活況を示すとともに、海外からの観光客が顕著に増加するなど、茶業情勢も引き続き上向きになりました。また、輸出についても引き続き好調で、欧米向けに抹茶を含む粉末状の緑茶の需要が拡大しています。

こうした中、宇治茶のさらなる普及を目的に多言語対応のホームページへのリニューアル、産地や宇治茶の技術を紹介する動画作成を行いました。また、「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」は引き続き有料による定員制の実施、大型ショッピングモールにおける体験等の実施や宇治茶振興助成事業による宇治茶の普及への支援を通じて、多くの消費者の皆様には「宇治茶の魅力」を発信してきたところです。さらには、『瓶入り宇治茶ドリンク「京都宇治玉露 玉兔」』のより一層の販路拡大の充実、プレミアム宇治茶認証制度による良質宇治茶の普及、国庫事業を活用した輸出への取組み支援に取組みました。

なお、将来にわたり宇治茶ブランドが継承されるよう、茶業振興の基本的な方向と推進事項が示された京都府茶業振興計画の策定（令和7年3月）について、会頭、副会頭が検討委員として参画しました。

##### 令和6年産茶の生産並びに流通・販売概況

###### 1 令和6年の気象推移と府内産茶の生産・取引状況

（情報提供：全国農業協同組合連合会京都府本部農畜産部茶業市場課）

- (1) 令和6年は平均気温が平年に比べ、1～2月はやや高く、3月は低く推移したことから一番茶萌芽日は昨年と比べ5日遅い平年より2日早い4月2日となりました。このよ

うな生育状況を受け、全農京都茶市場の初取引は昨年と比べて8日遅い4月24日となりました。アフターコロナ、インバウンド需要の回復、輸出の拡大等の需要を見据え、全茶種において堅調な価格での取引となり、特にてん茶の取引は需要の拡大に伴い、大変引き合いの強い取引となりました。

生育状況は、4月の高温により、生育は急速に進み、被覆開始や摘採遅れを感じる茶が散見されました。一方で、霜害や害虫被害も少なく一番茶の総数量は884tと前年比116%となりました。品質は、早期遮光、早期摘採を実施された茶は内質も良い上級茶が出品されていましたが、一部に摘み遅れによる硬葉香味や蒸不足を感じる茶がありました。

相場展開は内質重視で価格差は大きくなりましたが、全てのランクにおいて強含みでの取引となり、特にてん茶の取引においては、大変引き合いの強さを感じる取引となりました。その結果、一番茶の総取引平均単価は前年比117%となり、令和2年度から4年連続で前年を上回る取引単価となり、茶市場開設以来、最も高い平均単価での取引となりました。

二番茶は高温多湿による病虫害被害や被覆による日焼け等が懸念される中での取組みとなりました。もみ茶は早期摘採により一定の品質が維持されたことと大きな減産であったことにより引き合いの強い取引となりました。てん茶は生産時期の気候の原因により品質を下げる結果となり、上級品の割合が少なく上下格差の大きい取引となりました。このような状況により二番茶の平均取引単価は前年比95%となりました。

## (2) 一番茶の茶種別流通・販売状況

### ア 煎茶

ミル芽摘採された茶で外観が冴えて濃厚な味わい・宇治茶らしい香気を持ち合わせた良質茶は高値で取引されました。全体的に形状は良いが、少し淡泊に感じる茶が散見されました。しかし、煎茶生産が限られていることから最後まで堅調な価格で取引されました。

(前年対比 数量 108.8% 平均単価 98.9%)

### イ 玉露

手摘み玉露は、形状並びに内質の良い茶は高値で取引されました。一部の茶は、内質に淡泊さを感じる茶がありました。しかし、出荷量が減少したこともあり、全体的に高値で取引されました。

鋏摘み玉露は、特に滋味が濃く旨味のある茶は高値で取引されました。被覆のタイミングが難しく、覆い香味不足・硬葉化した茶が散見されました。しかし、減産傾向であったことから堅調な価格で取引されました。

(手摘み玉露：前年対比 数量 70.2% 平均単価 111.4%)

(鋏摘み玉露：前年対比 数量 96.4% 平均単価 108.4%)

### ウ かぶせ茶

全体的に形状の良い、覆い香味も兼ね備えた水色の良い良質茶は高値で取引され

ました。一部に摘採遅れや覆い不足を感じる茶、水色に欠点を持つ茶が見られました。取引は最後まで品質に見合った価格で行われました。

(前年対比 数量 102.8% 平均単価 101.7%)

#### エ てん茶

宇治てん茶は、外観とから色の冴えがあることを前提に滋味と香気の濃い茶は高値で取引されましたが、ほんの一部に内質で淡泊さを感じる茶がありました。減産傾向のため、全体的に高値となりました。

初茶てん茶は、全体的に被覆の効いた茶が出揃ったことや需要の拡大により高値で取引されました。特に宇治茶らしい外観とから色が冴え、滋味が濃厚な茶は高値で取引されました。

(宇治てん茶：前年対比 数量 124.8% 平均単価 126.4%)

(初茶てん茶：前年対比 数量 133.8% 平均単価 114.0%)

### (3) 二番茶の茶種別流通・販売状況

#### ア 煎茶

二番茶の生産量は大きく減産する中での取引となりました。品質格差による選択買い傾向は強く、形状がよく滋味の濃い製品は高値で取引された一方で、外観が大型化、水色の赤み、苦渋味を感じる製品については、引き合いが弱くなりました。数量は、前年に比べて、大きく減少し38tとなりました。

(前年対比 数量 69.3% 平均単価 112.8%)

#### イ かぶせ茶

煎茶（二番茶）と同様に生産量が大きく減産する中での取引となりました。品質格差による選択買いの傾向は強かったものの、適期摘採されたものは形状並びに色沢の良い上質な製品の割合が多くなりました。数量は、てん茶（二番茶）への茶種移行もあり、9tと前年に引き続き大きく減産となりました。

(前年対比 数量 66.2% 平均単価 109.4%)

#### ウ てん茶

初茶てん茶の取引状況を背景に増産が期待されましたが、減産する中での取引となりました。製品格差により価格形成が行われますが、各クラス共に堅調な価格で推移しました。生産時期の気候の原因により品質を下げる結果となり、上級品の割合が少ない状況となりました。染まりが悪い、病虫害被害等による葉傷み、萎凋、ムレを感じる製品が多くなりました。数量は、196tと大きく減産しました。

(前年対比 数量 77.2% 平均単価 92.3%)

### (4) 秋番茶、秋てん茶

すべて受注生産の相対取引となりました。秋番茶の例年通りの需要と秋てん茶のやや活発な需要に対して、芽伸びが悪い茶園が多い状況での製造となりました。合計では昨

年をやや上回る量を供給できましたが、秋番茶はかなりの減産となりました。取引単価は需給バランスの結果、昨年をやや上回る単価で取引されました。

(秋番茶 : 前年対比 数量 77.9% 平均単価 103.3%)

(秋てん茶 : 前年対比 数量 110.4% 平均単価 102.1%)

(5) 全農京都茶市場における令和6年産の一番茶及び二番茶以降の取扱実績は、取引数量が1,746 t (前年度1,685 t) となり、前年に比べて4%増となりました。

また、取扱い金額では、50.1億円 (同41.2億円) となり、前年に比べて22%増となりました。

(6) 令和6年度の京都府の茶園面積、荒茶生産量、荒茶生産額は以下のとおり。茶園面積は微減、荒茶生産量及び荒茶生産額は増加となりました。

	本年 (令和6年)	前年 (令和5年)	前年比
茶園面積	1,488 ha	1,505 ha	99%
荒茶生産量	2,492 t	2,427 t	103%
荒茶生産額	88.6 億円	71.7 億円	124%

[京都府産茶の生産・流通状況等に関する資料 (旧京都府茶業統計)]

## 2 全国の生産・流通状況

ア 令和6年の全国レベルの荒茶生産量は、主産県計66,900 t (前年68,000 t) で、前年産に比べて1,100 t (2%)減少しました。

主産府県では、前年比で増加したのは京都府と鹿児島県でした。京都府は2,780 t (同5%増)となり、鹿児島県は静岡県を抜いて日本一の荒茶生産量となりました。

府 県 名	荒茶生産量		
	本年 (令和6年)	前年 (令和5年)	前年比
静 岡	25,800 t	27,200 t	95%
三 重	5,020 t	5,220 t	96%
京 都	2,780 t	2,640 t	105%
福 岡	1,650 t	1,750 t	94%
宮 崎	2,640 t	2,940 t	90%
鹿 児 島	27,000 t	26,100 t	103%
主 産 県 計	66,900 t	68,000 t	98%

※主産県の内、埼玉、熊本のデータは省略 [農林水産省大臣官房統計部調べ]

イ 一般家庭での緑茶 (リーフ) 消費は、年間購入量671 g (前年実績676 g、前年比0.7%減)、消費支出金額3,194円 (同3,214円、前年比0.6%減) と前年に比べて減少し、平成10年と比べると、およそ半減となっています (平成10年比613 g減、48%減)。 [総務省家計調査]

一方、令和6年の緑茶ドリンクの生産量は、297万kℓ（前年実績292万kℓ、前年比5万kℓ増）となりました。〔日刊経済通信社調査〕

ウ 日本緑茶の令和6年の輸出量は粉末状のお茶を主として、8,798t（前年7,579t）となり、前年比1,219t、16.1%増となり、引き続き輸出は好調でした。また、令和6年輸入量は3,032tとなり、前年(3,108t)に比べて、76t、2.4%減少しています。〔財務省貿易統計〕

#### A 実施した3つの重点課題と事業種目

①高品質で、安心・安全な宇治茶づくりとブランド産地の育成 ②宇治茶の歴史、伝統文化の継承、保存 ③宇治茶の普及啓発事業の強化を3つの重点課題とし、これらを達成するため、次のとおり事業展開を図ってきています。

事業名	事業区分（事業目的）
I 宇治茶文化保存事業	1 宇治茶文化の理解促進事業 （日本緑茶を楽しみ、味わう本来の喫茶習慣の普及と宇治茶文化に対する理解促進を図る）
	2 宇治茶保存事業 （宇治茶の歴史・文化の継承と理解促進を図る）
II 宇治茶振興事業	1 宇治茶生産と品質維持・向上対策事業 （安心・安全で信頼性の高い宇治茶の生産安定を図る）
	2 宇治茶の普及啓発事業 （多彩な宇治茶づくしのイベントを開催し、宇治茶の普及啓発を図る）
	3 宇治茶振興を目的とした宇治茶会館等の貸与 （宇治茶の振興を目的とするイベントや催しを実施する場として宇治茶会館・京都府茶業会館の貸し出し）
III 宇治茶振興に対する助成事業 （他団体で実施することにより、宇治茶と宇治茶文化の普及発展が見込まれる事業）	1 公募方式により事業助成する事業
	2 選考の上、助成する事業

#### B 事業の実績

##### 【I 宇治茶文化保存事業】

##### 1 宇治茶文化の理解促進事業

##### （1）宇治茶ふれあい教室の開催

京都府内の小学校等を対象に、「宇治茶ふれあい教室（座学、お茶の淹れ方教室（玉露・煎茶・抹茶から選択）」を実施し、宇治茶による食育を推進しました。

【開催実績：12件、参加人数923名】

## (2) 「宇治茶大好き！キッズ茶ムリエ検定」の開催

京都府山城広域振興局との共催により、次代を担う子供たちに宇治茶に対する理解を深めることを目的に、小学生(3～6年生)を対象に、「宇治茶大好き検定」、「お茶の飲み分け検定」等を宇治茶会館にて実施しました。

【開催実績：3回（10月6日(日)、11月17日(日)、12月14日(土))、参加人数98名】

## (3) 宇治茶の淹れ方体験学習の場〔宇治茶道場「匠の館」〕の運営

ア 令和6年度は、インバウンド需要の回復が本格化し、特に団体客の受け入れが大きく増加しました。中でもインドからの団体ツアーは41件、1,477人にのぼり、これまでになかった規模となりました。

また、体験メニューの見直しや価格改定を行い、収益性の向上を図った結果、団体客の積極的な受け入れとあわせて、開館以来初の黒字化を達成しました。

令和6年度の入込状況は、喫茶部門10,830名（前年度6,058名）、淹れ方教室151名（同170名）、茶香服276名（同85名）、抹茶アート282名（同208名）となりました。なお、淹れ方教室は10月末をもって終了しております。

また、出張「匠の館」も実施し、イオンモール久御山などでの催事を行いました。

イ 「匠の館」では、喫茶で提供している「宇治玉露」「宇治抹茶」「宇治煎茶」を自宅用やお土産用に販売しており、来館者が自宅でも宇治茶を楽しめるようにすることで、宇治茶の魅力発信と販路拡大を図っています。

## (4) 国内外での宇治茶の情報発信

「宇治茶伝道師（令和4年度に京都府から委嘱）」等と連携を図りながら、京都府民や京都を訪れる国内外からの観光客等に対して、宇治茶の歴史・文化や美味しい宇治茶の淹れ方などを広く普及する活動を進め、情報発信に努めました。

### 宇治茶伝道師名簿（10名）〔順不同、敬称略〕

堀井長太郎（会頭 / 茶商工業者）、吉田利一（副会頭 / 生産者）、  
中田義孝（理事 / 生産者）、仲井敏雄（理事 / 茶商工業者）、  
藤井孝夫（理事 / 大学教授）、村田範子（日本茶インストラクター）、  
川邊佳秀（京都府茶業連合青年団員）、大西美佳（日本茶インストラクター）  
小嶋秀子（日本茶インストラクター）、小山茂樹（茶商工業者）

## (5) 宇治茶の食育教材「宇治茶大好き」、「みんなでお茶しようね」の無料配布

保育園、小中高校等からの申請に応じて、宇治茶の美味しさ、効能等の理解促進のため、「宇治茶大好き（日本語版・英語版・中国語版）」、童話絵本「みんなでお茶しようね」の無料配布により食育を推進しました。

【配布実績：宇治茶大好き 39件、4,353部  
みんなでお茶しようね 7件、323部】

## 2 宇治茶保存事業

### (1) 第21回宇治茶製法手もみ技術競技大会の開催

令和7年3月4日(火)に宇治茶会館において第21回宇治茶製法手もみ技術競技大会を開催し、京都府宇治茶製法手もみ技術保存会連絡協議会員4団体10チームが参加しました。審査員には、京都府茶業研究所長等の3名が当たり、厳正な審査の結果、和束茶手揉技術保存会が優勝杯(会議所会頭杯)を獲得されました。

### (2) 全国手もみ茶振興会主催行事への参加

#### ア 第32回全国手もみ茶品評会への出品

7月12日(木)に(株)静岡茶市場において審査会が開催され、16都府県から100点の出品があり、京都府からは3地域保存会(京田辺、宇治田原、南山城村)から5点を出品しました。

#### イ 第28回全国手もみ製茶技術競技大会への参加

11月14日(木)に静岡県藤枝市のいきいき交流センターで開催された第28回全国手もみ製茶技術競技大会には、全国16都府県等から28チームが出場するなか、京都府からは4地域保存会(宇治、京田辺、和束、南山城村)から4チーム12名が出場しました。

### (3) 宇治茶の世界文化遺産登録を目指す取り組みについて

#### ア 文化庁に対する提案書(令和4年度改定)

##### ■ 提案書の改定概要

本提案書は、平成26年3月に作成したものを、宇治茶文化的景観等調査研究会議による調査結果を反映し、金田章裕京都大学名誉教授を座長とした有識者会議の意見を踏まえて改定を行い、文化庁へ提案しているものです。今回は平成29年度以来の4回目の改定となり、文章、構成、レイアウトを全面的に見直し、変更しました。

詳細は、京都府の『「宇治茶の文化的景観」世界文化遺産登録に向けて』のホームページ(<https://www.pref.kyoto.jp/nosan/1331098394335.html>)をご覧ください。

#### イ 「宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム」の取り組みについて

「宇治茶の文化的景観」の暫定リスト入りを目指して、「宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム」の一員として、次のとおり情報発信や府民の理解醸成に努めました。

##### ○ 「山城のたから授業」の実施

山城地域の小学校15校において実施。参加者649名。

##### ○ 宇治茶ファンミーティング「宇治茶LOVE茶会in久御山町」の開催

令和7年2月8日(土)、参加者17名(定員20名)

#### (参考) 宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォームの概要

平成25年度に文化庁に対する提案書づくりに合わせて、宇治茶の世界文化遺産登録を目指す戦略づくりを目的とし、茶業関係者、大学研究者等の多彩なメンバーが一体となった地元推進組織として設置。

代表：森京都文教大学学長 事務局：京都府、当会議所

ウ 宇治茶の世界文化遺産登録の推進に向けたその他の取組み（京都府、京都文教大学）

○ 「宇治茶の文化的景観」世界文化遺産登録推進シンポジウム

開催日 令和7年3月20日(木・祝)

開催場所 宇治茶会館

内容 取組み報告、講演、パネルディスカッション

参加者 40名（定員120名）

エ 神社仏閣での献茶祭について

宇治茶の歴史、文化を今に伝える文化的な儀式である神社仏閣が行う献茶祭は、一般市民、観光客が実際に宇治茶を味わい、宇治茶の伝統文化に触れ、宇治茶文化に対する国民の理解促進になることから積極的に支援し、その継承に努めました。

○ 5月 6日(日・祝) 平安神宮献茶

○ 11月 8日(金) 高山寺献茶式

○ 11月26日(火) 北野天満宮御茶壺奉献奉告祭

(4) 高山寺茶園（日本最古の茶園）の管理

宇治茶発祥の地「高山寺茶園」について、当会議所、宇治市茶生産組合を中心に、京都府、宇治市、宇治茶愛好家等の指導、協力を得て4回（7月22日(月)、9月17日(火)、10月23日(水)、令和7年3月25日(火)）の管理を実施しました。

(5) 宇治茶関連資料の収集・整理

京都府茶業会議所の前身である京都府茶業組合取締所が明治17年に設立されてから、順次適宜、整理等を進めたところです。

(6) 宇治茶会館における宇治茶文化財の常設展示

宇治茶会館3階展示ホールにおいて、宇治茶関連文化財の常設展示を実施しました。

主な展示物：宇治茶まつり献茶道具（窯、茶碗等）、宇治の製茶図（レプリカ）

**【Ⅱ 宇治茶振興事業】**

**1 宇治茶生産と品質維持・向上対策事業**

**(1) 消費者が安心して飲める安心・安全な宇治茶づくり対策**

**ア 宇治茶GAP（農業生産工程管理手法）の推進**

宇治茶GAP推進協議会を推進母体として、行政、関係団体等が一体となって「宇治茶GAP」の支援・推進を進めています。

当会議所では、推進協議会の一員として、府内の茶産地全体が揃って宇治茶GAP実践に取り組めるよう支援するとともに、一定レベルをクリアした宇治茶GAP実践者（製茶工場）からの申請に基づき、今年度は上級13工場、初級40工場の承認を行ったところです。

(参考) 宇治茶GAPの概要

- 1 対象者：府内の茶生産者・製茶工場
- 2 実践内容：自己点検の実施、改善指導。実践誓約書の提出、実践確認証の交付。
- 3 指導者：産地JA担当者、普及指導員、先進的農家
- 4 宇治茶GAPの承認制度
  - 対象者：一定の基準を満たした宇治茶GAPの実践者（製茶工場）
  - レベル：初級、上級の2級制。次の基準を満たす者・工場を承認。
  - 承認基準：(初級) 点検シートの必須項目100%  
(上級) 点検シートの必須項目100%+重要項目70%

5 宇治茶GAP推進協議会（平成27年1月設立）

京都府、京都府農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会京都府本部、京都やましろ農業協同組合等府内の産地JA、(公社)京都府茶業会議所、京都府茶生産協議会、京都府茶協同組合で構成。(会長：吉田利一京都府茶生産協議会長)

イ 府内産荒茶農薬残留分析結果について

全農京都府本部茶市場に出品された府内産荒茶のうち、一番茶、二番茶、秋番茶の煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶の4茶種から合計20体について、本府において通常使用されている茶農薬を中心に、2機関で一斉分析検査（117項目・112項目）を実施したところ、すべての検査について、食品衛生法による残留農薬基準を上回るものは見られませんでした。なお、結果概要については、当会議所ホームページに掲載しています。

ウ 「茶樹病害虫防除指針」に基づく清浄茶生産の推進

安心・安全な府内産荒茶を生産するため、京都府茶生産協議会と連携・協力して、「茶樹病害虫防除指針」に基づき、農薬の安全使用と農薬散布作業でのドリフト防止に万全を期すよう指導の徹底を図っています。

こうした安心・安全な宇治茶生産の取りみは、府内産茶のブランド力向上に寄与しています。

(2) 京都府内地域別茶園品評会、茶品評会の奨励

京都府内の市町村、JAが開催する地域別の茶園品評会、茶品評会に対して、事前に開催される栽培、製茶技術向上研修会の開催を支援し、茶生産農家の技術向上を図るとともに、審査会に審査員を派遣しました。

また、品評会を後援するとともに、成績優秀者に対して会頭賞を贈り、府内における良質茶の生産奨励に努めました。 【実績：後援数2件、会頭賞交付数27点】

(3) 2024年度京都府優良品種茶園品評会の開催結果

府内地区審査から選抜された41点の出品があり、11月に4日間の審査が行われました。幼木茶園の部、成木茶園（手摘みの部、機械摘みの部）の3部門から、特に優秀な茶園が農林水産大臣賞を受賞しました。

また、褒賞授与式は令和7年2月7日(金)に宇治茶会館において開催されました。

- ・〔農林水産大臣賞〕 成木茶園・手摘みの部 吉田利一（宇治市）

#### (4) 第42回京都府茶品評会の開催結果

263点の出品となり、7月9日(火)、10日(水)に宇治茶会館において審査が行われ、結果等については下記のとおりです。

また、褒賞授与式は令和7年2月7日(金)に宇治茶会館にて、農林水産大臣賞受賞者を始め成績優秀者や関係者出席のもと、執り行われました。

##### ア 出品点数

茶種	煎茶	かぶせ茶	玉露	てん茶	合計
点数	28	40	70	125	263

##### イ 入賞点数

区分	煎茶	かぶせ茶	玉露	てん茶	合計
1等	2	2	5	7	16
2等	4	5	6	14	29
3等	4	6	11	19	40

##### ウ 一等等一席受賞者

- ・煎茶の部〔近畿農政局長賞〕中窪良太郎(南山城村)
- ・かぶせ茶の部〔農林水産大臣賞〕(有)両丹いきいきファーム 中田義孝(綾部市)
- ・玉露の部〔農林水産大臣賞〕山下新貴(京田辺市)
- ・てん茶の部〔近畿農政局長賞〕辻喜代治(宇治市)

#### (5) 第46回宇治茶品評会の共催

297点の出品となり、9月25日(水)に宇治茶会館において開催され、審査会の結果等については下記のとおりです。

また、褒賞授与式は10月16日(水)に宇治茶会館にて、農林水産大臣賞や各特別賞受賞者出席のもと行われ、成績優秀者に会頭賞を贈りました。

##### ア 出品点数

茶種	玉露	煎茶	てん茶	合計
点数	98	100	99	297

##### イ 農林水産大臣賞受賞者

- ・玉露の部 共栄製茶株式会社
- ・煎茶の部 共栄製茶株式会社
- ・てん茶の部 株式会社丸久小山園

#### (6) 第78回全国お茶まつり静岡大会の開催結果

第78回全国茶品評会は、9年ぶりに静岡県で開催されました。総出品点数787点のうち、京都府から、煎茶4kg、かぶせ茶、玉露、てん茶の4茶種で総数128点(前年

度128点)の良質茶が出品され、50点が入賞しました。

また、かぶせ茶、てん茶の部において農林水産大臣賞を受賞し、産地賞においても綾部市(かぶせ茶)と宇治市(てん茶)が1位(優勝旗)を獲得されるなど、見事な成績を収めることができました。

なお、出品点数、審査成績結果、産地賞及び特別賞受賞等は、次のとおりです。

ア 主催 第78回全国お茶まつり静岡大会実行委員会、全国茶生産団体連合会 ほか

イ 全国及び京都府茶種別出品点数並びに入賞点数

		普通煎茶		深蒸し煎茶	かぶせ茶	玉露	てん茶	蒸し製玉緑茶	釜炒り茶	合計
		10k	4k							
出品	総数	103	101	107	78	100	108	93	97	787
	京都府	—	4	—	28	33	63	—	—	128
入賞	総数	31	31	33	25	30	34	29	34	248
	京都府	—	0	—	15	2	33	—	—	50

ウ 審査会及び京都府選出審査員

- ・期 日：8月27日(火)～30日(金)
- ・場 所：(株)静岡茶市場(静岡市)
- ・審査員：20名

審査長 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

果樹茶業研究部門 茶業研究領域長 佐藤安志

京都府選出審査員 京都府茶業研究所 主任研究員 堤 保三

京都府茶生産協議会 顧問 加藤英幸

エ 入賞点数(1～3等、京都府関係分)

	普通煎茶(4kg)				かぶせ茶				玉露				
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	
総数	5	10	16	31	4	8	13	25	5	11	14	30	
京都府	0	0	0	0	4	4	7	15	0	0	2	2	
	てん茶				合計				入賞率(本府関係分4茶種)				
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計					
総数	5	11	18	34	19	40	61	120	31%(入賞数/出品数)				
京都府	5	11	17	34	9	15	26	50	41%(京都府入賞数/入賞数)				

オ 農林水産大臣賞受賞者(一等一席受賞者)

- ・かぶせ茶 下岡清富(宇治田原町)
- ・てん茶 山崎一平(宇治市)

カ 産地賞（1～3位、1位優勝旗）

- ・かぶせ茶 綾部市（1位）、宇治田原町（2位）
- ・てん茶 宇治市（1位）、城陽市（2位）、久御山町（3位）

キ 第78回全国お茶まつり静岡大会行事

- ・出品茶入札販売会  
期日：9月12日(木)  
場所：(株)静岡茶市場（静岡市）
- ・褒賞授与式  
期日：11月2日(土)  
場所：浜松市福祉交流センター（浜松市）
- ・消費拡大イベント  
期日：11月2日(土)～3日(日・祝)  
場所：浜松城公園 葵広場（浜松市）
- ・第41回全国茶生産青年茶審査技術競技大会、茶業青年の夕べ  
期日：11月1日(金)  
場所：(株)静岡茶市場（静岡市） ほか

(7) 第76回関西茶業振興大会愛知県大会の開催結果

第76回関西茶品評会は、7年ぶりに愛知県において開催されました。

総出品点数371点のうち、京都府からは普通煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶による総数133点（前年度149点）の良質茶が出品され、54点が入賞しました。

普通煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶で上位入賞を果たすとともに、産地賞（1位）を獲得することができ、一層、宇治茶銘柄を高揚することができました。

出品点数、審査成績結果、産地賞及び特別賞受賞者は次のとおりです。

ア 主催 愛知県ほか5府県、関西茶業協議会 ほか

イ 出品点数

茶種	普通煎茶	深蒸煎茶	かぶせ茶	玉露	てん茶	合計
総数	117	34	55	37	128	371
京都府	24	—	12	37	60	133

ウ 審査会及び京都府選出審査員

- ・期日：7月31日(水)～8月2日(金)
- ・場所：豊田市民文化会館（豊田市）
- ・審査員：26名

審査長 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

果樹茶業研究部門 茶業研究領域長 佐藤安志

京都府選出審査員	京都府茶業研究所	所長	神田真帆
	〃	主任研究員	堤 保三
	〃	主任	竹村香織
	京都府茶生産協議会	顧問	加藤英幸
	関西茶業協議会	事務局長	原田和也

エ 入賞点数（1～3等、京都府関係分）

	普通煎茶				かぶせ茶				玉 露			
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計
総 数	6	12	17	35	3	6	8	17	2	3	4	9
京都府	6	8	2	16	1	3	2	6	2	3	4	9
	てん茶				合 計				入賞率（本府関係分4茶種）			
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計				
総 数	7	12	18	37	20	36	54	110	30%（入賞数 / 出品数）			
京都府	1	10	12	23	10	24	20	54	49%（京都府入賞数 / 入賞数）			

オ 農林水産大臣賞受賞者（一等一席受賞者）

- ・煎 茶 北本錦司（南山城村）
- ・玉 露 米田五司（京田辺市）

カ 産地賞（1～3位、1位優勝旗）

- ・煎 茶 南山城村（1位）
- ・かぶせ茶 綾部市（2位）、木津川市（3位）
- ・玉 露 京田辺市（1位）、宇治市（2位）、宇治田原町（3位）
- ・てん茶 宇治市（3位）

キ 第76回関西茶業振興大会愛知県大会行事

- ・出品茶入札販売会  
期日：9月5日(木)  
場所：西三河農業協同組合本店（西尾市）
- ・褒賞授与式  
期日：11月16日(土)  
場所：西三河農業協同組合事務センター（西尾市）
- ・茶消費促進関連イベント  
期日：11月16日(土)～17日(日)  
場所：西三河農業協同組合事務センター（西尾市）



第78回全国お茶まつり静岡大会



第76回関西茶業振興大会愛知県大会

(8) 出品奨励金及び特別報奨金の交付

第78回全国茶品評会、第76回関西茶品評会、第32回全国手もみ茶品評会への出品者を対象に出品奨励金並びに農林水産大臣賞受賞者及び1等賞受賞者へ特別報奨金を交付しました。また、全国手もみ茶品評会出品者には、1点当たり10,000円の出品奨励金を交付したところです。【総額 3,330,000円】

区 分	出品奨励金		特別報奨金 一等賞受賞		特別報奨金 農林水産大臣賞受賞	
	点数	金額(円)	点数	金額(円)	点数	金額(円)
全国茶品評会	128点	1,280,000	かぶせ茶 3点 てん茶 4点	210,000	かぶせ茶 1点 てん茶 1点	200,000
関西茶品評会	133点	1,330,000	普通煎茶 5点 かぶせ茶 1点 玉露 1点 てん茶 1点	160,000	普通煎茶 1点 玉露 1点	100,000
全国手もみ茶品評会	5点	50,000				
合計	266点	2,660,000	15点	370,000	4点	300,000

(9) 「プレミアム宇治茶認証制度」の取組み

「プレミアム宇治茶認証制度」については、高品質茶のブランド価値を高めるため、京都府や関係団体と協力・連携して平成30年度に創設し、取組みを進めています。

本年度は、「プレミアム手摘み玉露」、「プレミアム玉露」、「プレミアム煎茶」合わせて計61点（計18業者）を認証するとともに、印刷物により制度と認証茶取扱店をPRするとともに、京都府と連携して事業でプレミアム宇治茶を使用する取組みを行いました。

- 品質審査会 10月31日(木)
- 認証委員会 11月14日(木)
- 認証数等
  - ・プレミアム手摘み玉露 23点（14業者）
  - ・プレミアム玉露 14点（10業者）
  - ・プレミアム煎茶 24点（14業者）



シンボルマーク

## (10) アグライノベーション創出事業の取組み

令和5年から3か年間、宇治茶の機能性成分の実用化を図るため、次の2課題について、研究にかかる経費を負担しています（令和4年から3か年、特定費用準備資金として各年度600万円積立て）。

### ア 抹茶飲用による機能性成分「ポリアミン」等の肌理（きめ）改善

抹茶飲用により、顔の皮膚が改善される傾向が示された。55歳以上ではこうした差はみられず、次年度、引き続き検討する。また、抹茶に含まれるポリフェノールの一種であるルテインも増加し、わきの下や二の腕の皮膚の状態がきめ細やかになる傾向もみられた。

### イ テアニン、ポリアミン等の機能性成分が豊富な新品種育成

茶の新芽では機能性成分であるポリアミンや品質は成長とともに減少するが、自然仕立では減少が緩やかであり、これに関係する遺伝子に着目して品種間差異を調査したが統計解析では差異はみられなかった。引き続き、機能性成分が豊富な新品種育成栽培条件や気象条件も併せた遺伝子レベルの解析を進める。

## (11) 「宇治茶ブランド拡大協議会」における産官連携研究活動の強化

宇治茶の高い品質維持を図るため、NPO法人京都・地球みらい機構と連携しながら、茶業団体、行政機関等で構成する「宇治茶ブランド拡大協議会（会長：森下康弘副会頭）」を設立し、二つの事業を実施した。

気象観測装置による気象データの蓄積は、現在設置されている14台のうち、初期の設置機器は10年を経過した装置もあり、観測装置が必要のない「茶生育等予測マッピングシステム」（令和元年9月より京都府茶業研究所の事業でスタート）への移行を含めてトータル的に運用しました。

また、もう一つの活動の「宇治茶にまつわる古い記憶を再現プロジェクト」では、京都府茶協同組合並びに当会議所が所蔵しているアナログデータをデジタル化しデータベース化することで情報収集に取り組み、事業紹介を展開しました。

## (12) 輸出向け荒茶生産体制の整備

ア 海外での日本緑茶の優れた機能性に対する期待や和食の無形文化遺産登録等を背景に輸出は、令和6年の輸出額は364億円と過去最高を更新するなど、今後も一層の需要拡大が見込まれていますが、輸出先国（米国、台湾等）の農薬残留基準をクリアできる生産体制を構築する必要があります。

イ このため、「日本茶輸出促進協議会（平成26年12月設立、全国茶業団体、京都、静岡、鹿児島茶業会議所で構成。会長：上川陽子（公社）日本茶業中央会会長）」の事業として、輸出向け茶の生産拡大を図るため、現地実証圃の設置や検討会を開催し、輸出先国の農薬残留基準をクリアする農薬使用体系の構築を進める中、残留農薬の検証に取り組みました。

今年度は計10圃場で農薬防除体系の構築検証等に取り組み、一定の成果を得たところです。

○ 現地実証圃場の設置 宇治田原町：3か所、和束町：2か所、南山城村：5か所

- 現地実証圃での生産荒茶の農薬残留分析等
- 北米、EUの農薬残留基準値が高くなるよう変更された農薬が増えたため、9か所で基準値をクリアした。

ウ さらに、京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会宇治茶部会（部会長：堀井長太郎 会頭）でGFPグローバル産地づくり推進事業（国庫事業）により、①販路開拓に向けた海外展示会等への出展、②輸出向け防除体系の確立、③船便における輸送条件の改善等に取り組みました。

## 2 宇治茶の普及啓発事業

### (1) 「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」の開催

宇治新茶の始まりを告げる、恒例の「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」を5月1日(水)に開催し、茶業センター茶園での「茶摘み体験」をはじめ、宇治新茶の淹れ方体験、宇治茶の手もみ実演等により参加者に宇治茶の魅力を伝えるとともに、全国に新茶シーズンの訪れを発信できました。 【開催実績：参加者500名（定員500名）】

### (2) 大型ショッピングモールでのイベントの開催

9月14日(土)～15日(日)にイオンモール久御山で、出張「匠の館」として「お茶を楽しむ」イベントを開催しました。

親子連れが気軽に楽しめる「冷茶の飲み比べ」はクイズ形式で盛り上がり1日平均210名が参加し、大変好評の体験となりました。また、「抹茶アート体験」や「石臼体験」も2日間で延べ838名が参加しました。短時間で気軽に楽しめる体験が好まれ、宇治茶の魅力を広く発信することができました。

### (3) ホームページ、動画コンテンツ、SNSのリニューアルによる情報発信の強化

ア 従来の見るだけのホームページではなく、宇治茶の魅力をより深く伝えられるように動画や画像を駆使して、スマートフォンにも対応出来ており、英語、中国語の翻訳も兼ね備えています。さらに、宇治茶の「伝統」「歴史」「品質」「健康」等について若者に伝わりやすいコンテンツを作成しました。

イ 会員（京都府茶生産協議会、京都府茶協同組合）が利用しやすい情報が収納された専用ページ（一般ページからIDとパスワードでログイン）は、全国の宇治茶ニュースや業界カレンダー等のコンテンツにより会員の満足度を高めるための充実を図りました。

ウ SNSは、会議所公式のフェイスブックとインスタグラムに加え、匠の館でもインスタグラムを始め、宇治茶の魅力をさらにPRしました。

### (4) 全国及び京都府内での市民、消費者対象イベントに対する協賛・協力

宇治茶の価値を理解いただく普及啓発を進めるため、「宇治茶・山城ごちそうフェスタ」を始めとした京都府内各地で実施されたイベントに協賛、協力しました。

#### (5) 「宇治茶カフェ」の利用拡大と新規店舗の認定促進

誰もが宇治茶を気軽に楽しむことができるよう、宇治茶の郷づくり協議会の一員として宇治茶カフェの認定制度に取り組み、冊子「宇治茶カフェガイドブック」を観光案内所等で配布しました。しかしながら、コロナ禍以降、メニューの簡素化や人材不足もあり、本年度の新規認定は1店舗でした。 【認定店39店舗（昨年41店舗）】

#### (6) 宇治茶ブランド新展開プロジェクトの推進

「宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会」において、今後の消費拡大にとって重要である宇治茶の外出（特に和食業界）における有料での提供、一般消費者、外食事業者に対して新たな宇治茶の飲み方をPRし、宇治茶の消費拡大に取り組みました。

また、宇治茶を飲む人の視野を広げることを目的に宇治茶機能性講座を開催しました。  
(主な取組内容)

- 「京都宇治玉露 玉兎」のプロモーション
  - 販売本数83,664本（協議会買い上げ分含む）
  - 消費者向けプロモーション
    - ・ JR西日本ECサイト「DISCOVER WEST mall」への掲載（令和6年1月～）
  - 府内及び大都市圏への販売拡大プロモーション（5会場）
  - 海外への販路開拓
    - ・ 第7回“日本の食品”輸出EXPOへの出展  
（6月21日(水)～23日(金)、東京ビッグサイト）
    - ・ Salon du Sake（フランスの酒類展示会）へのサンプル送付
  
- 宇治茶機能性講座（宇治茶アカデミー（第3回））の開催
  - 開催日：令和7年2月5日(水)
  - 内 容：「お茶の機能性について」
  - 講 師：海野けい子氏（静岡県立大学茶学総合研究センター客員准教授）
  - 参加者：受講者18名、配信視聴者103名

(参考) 「宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会」(平成29年12月設立)

構成団体：(公社)京都府茶業会議所、京都府茶生産協議会、京都府茶協同組合、日本茶インストラクター協会京都府支部、京都府茶業連合青年団、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー、お茶の京都DMO、京都府  
会長：京都府農林水産部副部長 事務局：京都府農林水産部農産課

#### (7) 「お茶の京都」づくりに対する協力

「お茶の京都博」の成果を引き継ぐため、「お茶の京都 Premium Green Fes.」を冠した山城各地の種々のイベントが取り組まれたところです。

「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」もその一つとして位置付け取り組みました。

### (8)「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城」の情報発信への協力・支援

「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」において「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城」(平成27年4月に「日本遺産(Japan Heritage)」に認定)について、宇治茶の味や香りとともに紹介しました。

### (9) 宇治茶の知的財産保護への取組み推進

「伝統宇治碾茶」の地理的表示(GI)登録制度に登録申請中であり、農林水産省からの申請資料に対する質問等への対応を続けています。

5月16日(木)には、農水省による現地確認と関係者による意見交換を行いました。

### 3 宇治茶振興を目的とした宇治茶会館及び京都府茶業会館の貸与

宇治茶会館及び京都府茶業会館は、茶業関係者はもとより広く消費者の皆さんに、宇治茶の振興や宇治茶文化の継承等に寄与するイベントや各種催しを実施する場として貸出を行っているところです。令和6年度も各種団体に合わせて宇治茶会館84回、京都府茶業会館147回のご利用をいただきました。

今後とも、宇治茶会館及び京都府茶業会館をより多くの方に知って貰い、一層宇治茶振興の場として活用いただけるよう努めることとしています。

本年度の利用実績は次のとおりです。

#### <宇治茶会館利用実績>

団体名	内 容	回数	公益	収益	法人
本会議所(京都府茶協同組合、京都府農産課との共催関係含む)	八十八夜茶摘みの集い、プレミアム宇治茶認証、GFP研修会等	24	12		12
京都府茶生産協議会	京都府茶品評会	7	7		
京都府茶協同組合	販売会、宇治茶品評会等	8	8		
宇治茶の郷づくり協議会	運営委員会、総会	5	5		
宇治茶の世界文化遺産登録推進プラットフォーム	監事会、シンポジウム	2	1		1
宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会	監事会	1			1
宇治茶GAP推進協議会	担当者会議	1	1		
京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会	GFP研修会等	2	2		
農林水産省	GI申請に係る意見交換会	1	1		
京都府農林水産部農産課	茶業担当者会議等	3	3		
京都府山城広域振興局	キッズ茶ムリエ検定等	11	11		
京都府立木津高等学校	手もみ茶研修	1	1		
日本茶輸出促進協議会	輸出向け実証圃設置事業検討会	1	1		
NPO法人日本茶インストラクター協会	一次試験	1		1	
京都やましろ農業協同組合	総代懇談会	1		1	

(一社)京都山城地域振興社	取締役会	1		1	
京都府茶業連合青年団	茶審査技術競技大会	1	1		
日本茶インストラクター協会京都府支部	研修会、茶香服大会等	2	2		
宇治市茶生産組合	宇治市茶生産者大会等	2	2		
城陽市茶生産組合、八幡市	茶品評会	2	2		
NPO法人こみねっと	スクール茶ムリエマスター講習会等	3	3		
JTB	タイ商工会議所視察	1		1	
その他		3	3		
	合計	84	64	6	14

<京都府茶業会館利用実績>

1 貸出等利用

団体名	内 容	回数	公益	収益	法人
サムライ茶人	日本茶ショー等	13	13		
(株)京都春秋	お茶講座	1	1		
和のん	宇治茶カフェ	1	1		
川合茶道教室	着物と宇治茶講座	2	2		
村田範子	着物と宇治茶講座	2	2		
小島茶園	宇治茶講座	1	1		
宇治茶祭奉賛会	宇治茶まつり副席	1	1		
NPO法人日本茶インストラクター協会	認定式及び日本茶アドバイザースクール	6		6	
(株)JR東海	キャンペーン実施場所	10		10	
(株)日本旅行	シガリズムビジネス創出コース	1		1	
(株)阪急交通社	観光庁地域観光新発見事業	1		1	
	合計	39	21	18	

2 喫茶等利用

団体名	内 容	回数
トマト日本(株)	喫茶	4
雲海ツアー	抹茶アート	1
枚方市立桜ヶ丘中学校など4中学校	喫茶	4
京都福祉専門学校	喫茶	1
ラルフ ローレン ツールデレガンスジャパン	茶香服	1
その他日本人団体	喫茶、茶香服	30
Thomas Cook (India) (インド人団体)	喫茶	41
その他海外団体	喫茶、香服	26
	合計	108

### 【Ⅲ 宇治茶振興に対する助成事業】

#### 1 令和6年度宇治茶振興助成事業（公募方式により事業助成する事業）の採択結果

##### （1）ホームページを通じた公募

令和6年度宇治茶振興助成事業公募要領をホームページに掲載し、京都府内に所在する個人、団体を対象に「宇治茶の普及・啓発による地域の活性化」または「宇治茶文化の保存・継承、理解促進」に該当する事業を公募しました。

期 間：令和6年3月4日(月)～3月22日(金)

助成率：京都府内1市町村内又は京都府外のみ…採択した事業内容の事業費の2/3以内

助成率：京都府内2市町村以上は京都府外のみ…採択した事業内容の事業費の3/4以内

##### （2）応募状況と選考結果

12団体から応募（申請総額6,685,000円）があり、学識経験者等で構成する選考委員会（森正美委員長ほか学識経験理事4名で構成）において、答申案を策定しました。

① 選考日：令和6年5月9日(木)

② 出席者：選考委員

③ 選考結果：承認団体は11団体、承認額は5,285,000円。

##### （3）令和6年度宇治茶振興助成事業実施実績等について

実施実績については、下記に記載のとおりです。

なお、助成団体は10団体、交付確定額は計4,605,000円となりました。

##### ○ NPO法人和東ティー・フレンズ

事業名 和東・茶会

事業内容 実施日：11月23日(土)、場所：和東運動公園一帯、参加者：261名

交付額等 交付額187,000円（決定額300,000円、申請額300,000円）

##### ○ 京都文教大学

事業名 親子で楽しむ宇治茶の日2024

事業内容 ① 美味しい宇治茶の淹れ方体験（ワークショップ）の実施

[縁庵マルシェ(4/16)、イズミヤ京都学生祭(4/23)、黄檗エンジョイフェスタ(5/26)、宇治市高齢者アカデミー交流会(6/21)、京都円山マルシェ(10/26)]等

② みんなでお茶当て体験(茶香服体験)の実施

[志津川福祉の園余暇企画(7/23)、ともいきフェスティバル2024(11/24)]等

③ 宇治茶スタンプラリーの実施

実施日：2月8日(土)～24日(月・祝)、場所：宇治橋周辺

参加者：1,100名

交付額等 交付額750,000円（決定額750,000円、申請額750,000円）

○ 京都府茶業連合青年団

事業名 宇治茶喫茶宣伝事業

事業内容 宇治茶の無料接待や淹れ方教室、茶香服等の実施。事業数41[南山城村道の駅周年イベント(4/7)、ツアーオブジャパン(5/20)、第73回宇治茶まつり(10/6)、北野大闘茶会(10/20)、城陽茶まつり(10/20)、宇治田原町民茶香服大会(10/26)]等、対象人数計6,021名。

交付額等 交付額2,000,000円(決定額2,000,000円、申請額2,000,000円)

○ 山城喫茶文化連盟

事業名 山城地域(相楽地域)喫茶交流茶会の開催

事業内容 実施日:11月30日(土)、場所:笠置町つむぎてらす、参加者:124名

交付額等 交付額342,000円(決定額342,000円、申請額342,000円)

○ NPO法人こみねっと

事業名 スクール茶ムリエマスター育成事業

事業内容 ①呈茶活動

・宇治茶イベント「茶Caféマスター」の開催

実施日:1月25日(土)、26日(日)場所:中宇治BASE

参加者:マスター33名、来客200名

・その他イベント出展:たなフェス(11/3)、うーちゃフェスティバル(12/22)等

②茶業者の支援による学習活動

・合組を学びオリジナル茶を作る

実施日:6月23日(日)、場所:宇治茶会館、マスター参加者:29名

・伝統の宇治製法を知り手もみ茶を作るワークショップ

実施日:7月24日(水)、場所:宇治茶会館、マスター参加者:21名

・茶業研究所を知る

実施日:8月20日(火)、場所:京都府茶業研究所、マスター参加者:21名

③次世代のマスターを育成する

交付額等 交付額340,000円(決定額397,000円、申請額397,000円)

○ 南山城村茶業振興対策協議会

事業名 南山城村茶業振興対策事業 南山城村茶業者大会「お茶の日」

事業内容 ①南山城村小学校児童全員(80名)へ煎茶の贈呈

②小学校6年生対象のお茶の淹れ方教室の実施(参加者:80名)

交付額等 交付額39,000円(決定額39,000円、申請額39,000円)

○ 山城茶業組合

事業名 日本遺産 上狛茶問屋街を中心とした宇治茶の宣伝事業

事業内容 ①「やましろまつり」でのお茶の呈茶

実施日：11月24日(日)、場所：アスピアやましろ、接待数：3,600名

②「山脊古道とことんウォーク」でのお茶の呈茶

実施日：11月24日(日)、場所：商工会山城支所前、接待数：300名

交付額等 交付額 77,000 円 (決定額 97,000 円、申請額 97,000 円)

○ 日本茶インストラクター協会京都府支部

事業名 日本茶インストラクターが伝える宇治茶の魅力

事業内容 ①宇治茶の魅力交流事業 茶話会「家庭における茶葉の保管法の提案」

実施日：令和6年7月21日(日)、場所：文化パーク城陽、参加人数：30名

②宇治茶の魅力セミナー「お茶を使った料理とティーマッチングについて学ぼう」

実施日：令和6年9月8日(日)、場所：宇治茶会館、参加人数：30名

③宇治茶の魅力競技会「茶香服大会」

実施日：令和7年2月22日(土)、場所：宇治茶会館、参加人数：57名

交付額等 交付額 333,000 円 (決定額 333,000 円、申請額 333,000 円)

○ 宇治市茶生産組合

事業名 宇治茶普及宣伝対策事業

事業内容 ① 普及宣伝事業

[名古屋観光プロモーション(9/4)、わんさかフェスタ(10/26)、全国お茶まつり静岡大会(11/2)、うーちゃフェスタ(12/22)、宇治市市政功労者表彰式(3/1)]

② 手摘み茶推進事業

[茶摘み募集チラシの配架、Facebook、Instagram等のSNS発信]

交付額等 交付額 470,000 円 (決定額 555,000 円、申請額 555,000 円)

○ サムライ茶人(個人)

事業名 宇治抹茶ラテアート大会の開催

事業内容 参加者に宇治茶の歴史、文化、種類等を伝え、併せて、お茶を飲んでもらうことで宇治茶の啓蒙を行った。また、その様子を YouTube で掲載した。

実施日：12月3日(火)、場所：京都府茶業会館、参加人数：4名(動画視聴数：延べ100名)

交付額等 交付額 67,000 円 (決定額 93,000 円、申請額 93,000 円)

○ 京都やましろ農業協同組合宇治田原町茶業部会

事業名 児童・生徒の健康促進のための宇治茶普及活動及び茶摘みを通じて、小学生生児童に向けての宇治茶普及活動

事業内容 宇治田原町内でのインフルエンザ等の感染症の拡大の影響で学校との日程調整がつかなかったため、全事業取下げ。

交付額等 交付額 0 円※事業取下げ (決定額 379,000 円、申請額 379,000 円)

## 2 選考の上、助成する事業

### (1) 宇治茶の郷づくり協議会に対する助成

- ア 対象団体：宇治茶の郷づくり協議会（会長：堀井長太郎会頭）
- イ 助成額：100万円
- ウ 助成理由：当該団体は、幅広い行政、農業団体等により構成され、宇治茶を柱とした地域の振興や宇治茶文化の継承等を目的とした事業を実施していることから、公募方式をとらず助成金額等を決定した。

### (2) 京都府茶業研究所が実施する企業、大学等との共同研究に対する助成

- ア 研究課題名：玉露の消費拡大に向けた新たな飲み方の開発（期間：令和4～和6年）
- イ 共同研究機関等：京都府立医科大学
- ウ 助成額：100万円
- エ 令和6年度試験研究項目：玉露の新たな飲み方提案のための製造方法の開発
- オ 成果：
  - ・開発中の玉露の「濃縮冷凍キューブ」は100℃のお湯を注ぐだけで、急須で淹れたような玉露のうま味を再現できた。
  - ・玉露のうま味を引き出す抽出方法の開発、濃縮法・殺菌法の選定を行った。茶における味わいを損なわない殺菌方法として高压殺菌が適していた。
  - ・玉露のフリーズドライ品の試作を行ったところ、玉露茶葉のみでフリーズドライまで製造可能であることが分かった。

## 【IV（公社）京都府茶業会議所の組織強化】

### 1 理事会、専門委員会の定例的開催

「より開かれた京都府茶業会議所」を目指すには、広く意見を集め、活発な議論をしていくことが大切との認識から、令和6年度は2回の理事会及び専門委員会を開催し、重要・懸案課題の解決に当たったところです。

#### < 専門委員会開催実績 >

専門委員会名	開催回数	主な議題等
企画総務	1	○ ホームページ、動画のリニューアルについて
茶生産対策	1	○ 京都府茶業振興計画の概要について ○ 令和7年度取組み事業の概要について
茶流通対策	1	○ 前回の普及啓発委員会の協議結果の確認 ○ ホームページの内容の説明
普及啓発	2	※合同委員会として1回開催
選考	1	○ 令和5年度宇治茶振興助成事業 事業実績報告について ○ 令和6年度宇治茶振興助成事業について

## 2 茶業功績者に対する表彰

長年茶業振興に尽力された次の方々については、当会議所として会頭表彰したほか、関西茶業協議会茶業功労者表彰、(公社)日本茶業中央会茶業功績者表彰をそれぞれ受賞されました。

(1) (公社)京都府茶業会議所 茶業功績者表彰

上田徳藏 様 福仲 稔 様 矢野芳巳 様 入江宗輔 様

(2) 関西茶業協議会 茶業功労者表彰

辻 俊宏 様 吉田一夫 様 大槻成利 様 工藤康将 様

(3) (公社)日本茶業中央会 茶業功績者表彰

北村敏朗 様